

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	小川晃
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3622
事務事業名	4306 文化活動振興事業	
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課	
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費
	事業	040000 文化活動振興事業
事業目的		事業概要・効果
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。		<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・信州岩波講座の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・「第17回信州岩波講座2015」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第18回信州岩波講座2016」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・フローラルスプリングコンサートvol2、公共ホール音楽活性化事業の実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数					
算式	年間利用者数・入館者数				単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標	185,000				
	実績					
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理					
最終年度目標の根拠	過去の実績による					
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		23,977	29,534
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,871	1,868
一般財源		22,106	27,666
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.0
	嘱託職員	0.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	1,441.6	0.0
	嘱託職員	2,434.5	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,876.1	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		27,853.1	29,534.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	450	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	23,500	信州岩波講座共催負担金、文化振興事業団自主事業補助金
その他	27	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	690	消耗品費120、食料費20、印刷製本費550
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	28,500	信州岩波講座共催負担金2,500、文化振興事業団自主事業補助金26,000
その他	344	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	財政状況と文化芸術振興のバランスを検討	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	財政状況と文化芸術振興のバランスを検討	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	財政状況と文化芸術振興のバランスを検討	

振り返り（決算年度の取組み課題）

信州岩波講座、文化振興事業団による自主事業とも、例年並みに開催された。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
文化芸術を核とした「ひとづくり」「まちづくり」を推進する。そのために必要な事業を効果的に行っていく。		文化振興事業団実施事業（補助金該当自主事業）の内容及び収支状況を注視する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	